

## 平成 26 年度 学部 FD 推進事業報告書

標記のことに関し、以下のとおり報告いたします。

学 部 名	経済学部
事 業 名	導入教育における主体的な学びの促進
平成 26 年度実務担当者名	本田 一成（経済学部教授／副学部長）
<b>事 業 の 概 要</b>	
<p><b>【計画性】当初計画通りに事業を推進できたか？</b>（いずれかにチェック）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>計画通りであった    <input type="checkbox"/>概ね計画通りであった    <input type="checkbox"/>あまり計画通りではなかった    <input type="checkbox"/>計画通りではなかった</p> <p>（以下、<b>本年度の推進事業の概要</b>について、年初「申請書」の「内容」「目的」「計画」、及び前記【計画性】の自己評価、さらに別添の「経費執行表」における予算の執行結果に照らして記入してください。）</p> <p>1. 本事業の「目的」、「内容」、「計画」</p> <p>本事業の目的は、初年次導入教育の教育手法・内容の改善に向けてアクティブ・ラーニングの1つである PBL 形式のデモンストレーション授業を行い、①経済学部の専任教員がスキルを修得すること、②デモンストレーション授業に参加した学生を観察し、主体的な学びの学生への成果を検証すること、③現行の導入科目（基礎演習 A &amp; B）のあり方を検討することである。</p> <p>具体的な内容は、8月4日から7日の4日間、PBL 形式の授業に経験にある外部講師を招き、デモンストレーション授業を実施し、①専任教員が授業を参観し、②2日間で1セッションとして計2セッションの授業に合計80名の学生が参加し、③当日に学生アンケートを実施すること、④これらに基づいて PBL 教育の効果を検証する計画であった。</p> <p>この計画にしたがい、8月4日から7日の4日間、2人の外部講師を招き、デモンストレーション授業を実施した。①経済学部専任教員は、4日間の授業のうち最低でも1日の授業を参観した。②学生は、前半のセッションには35名、後半には40名が参加した。③学生アンケートを実施した。④これらを踏まえて「基礎演習 B」において、PBL 教育を実施した。</p> <p>このように、本事業は、当初の計画通りに事業を実施し、平成 26 年度後期開講の「基礎演習 B」においてアクティブ・ラーニングの1つである PBL 形式の授業を実施するための知識とスキルを専任教員が修得することができた。</p> <p>2. 予算の執行について</p> <p>平成 26 年度の本事業の当初予算は 987 千円であった。ただし、アンケート集計の一部を学部が担う方針に転換し実施することで電算委託費を 178 千円減額（補正済み）し、労務委託費については、業者交渉により 64 千円減額した。この 64 千円の減額が減額補正の申請後であったため残高となり、その結果、予算執行率は 92.1%となったが、当初の計画事項はすべて実施した。</p>	